

召会は真理の柱また基礎であり、すべての聖徒は真理を維持する責任がある

聖書：Ⅰテモテ 3:15, 2:4, Ⅱテモテ 2:2, 15, ガラテヤ 2:5, 14

I. 召会は真理を支持する柱、また真理を保持する基礎です——Ⅰテモテ 3:15：

- A. 主は彼の召会が、彼を真理として認識し、彼が真理であると証しすることを願っています——ヨハネ 14:6, 18:37, Ⅰヨハネ 1:6, 5:20。
- B. Ⅰテモテ第3章15節の「真理」は、神の御言の中に啓示された真実な事柄を指しており、それはおもに神の具体化としてのキリストと、キリストのからだとしての召会です——2:4, コロサイ 2:9, 19。
- C. 真理とは、三一の神がキリストを具体化、中心、表現とし、キリストのからだ、神の家、神の王国である召会を生み出すことです——9節, エペソ 1:22-23, 4:16, Ⅰテモテ 3:15, ヨハネ 3:3, 5。
- D. 召会は実際としてのキリストを担っています。召会は全宇宙に、キリストが、キリストだけが実際であると証しします——1:14, 17, 14:6。
- E. 召会は真理を担う柱、また柱を保持する基礎として、神の奥義であるキリスト、キリストの奥義である召会の実際（真理）を証しします——コロサイ 2:2, エペソ 3:4。
- F. わたしたちがどのような召会を建造するかは、どのような真理を教えるかにかかっています。それゆえ、召会を生み出し、召会が存在することを助け、召会を建造するという切迫した必要があります——Ⅰテモテ 3:15。
- G. 召会生活の中で、わたしたちはみな真理の全き知識へ至る必要があります——2:4, 4:3, Ⅱテモテ 2:25, 3:7, テトス 1:1：
 - 1. あらゆる信徒は、神の御言の中に啓示された真実な事柄の全き知識、全体的な認識を持つべきです——Ⅰヨハネ 2:21。
 - 2. 真理の全き知識とは、真理に対する徹底的な了解、わたしたちが信じることを通して受けたすべての霊的で神聖な事柄の実際の、完全な承認と評価です——Ⅰテモテ 2:4, 4:3, Ⅱテモテ 2:25。
 - 3. 真理の言葉を真っすぐに裁断するとは、偏ったり曲解したりすることなく、新約に啓示された神のエコノミーの実際を明らかに示すことです——15節。
- H. 今日、主の回復の中で、わたしたちはエズラたちを必要とします。彼らは祭司であって教える者であり、神で浸透され、神の御言に精通しており、神聖な真理をもって聖徒たちを教育します——ネヘミヤ 8:1-8, 13, Ⅱテモテ 2:2, 15。
- I. わたしたちが応じなければならない最大の必要は、聖徒たちを真理の中にもたらすことです。すべての聖徒は、神聖な啓示の中で訓練されるべきです——Ⅰテモテ 2:4：
 - 1. わたしたちはみな回復訳とフットノート、そしてライフスタディを通して助けを受けて、聖書の言葉の内在的な意義を見る必要があります——ネヘミヤ 8:8, 13。
 - 2. ライフスタディメッセージは開く道具であり、聖書を開き、わたしたちを聖書の中にもたらしめます。
 - 3. 「わたしは、わたしたちの文書を、聖なる御言を開く道具と考えています。あな

たがたのうち、ライフスタディメッセージを読んだことがある人は、これらのメッセージと回復訳のフットノートが聖書の章と書を開いたと、正直に証しすることができます。これは聖書に置き換わるのではなく、人々を聖書の中にもたらしのです」(長老訓練、第3巻：ビジョンを遂行する道、第10章)。

II. すべての聖徒は真理を維持する責任があります—— I テモテ 3:15. II テモテ 2:15 :

- A. 支持する真理の柱と保持する真理の基礎は召会全体であり、すべての聖徒を含みます。召会のあらゆる肢体は、真理を維持する柱また基礎の一部です—— I テモテ 3:15。
- B. 召会が真理の柱また基礎であるとは、召会のあらゆる肢体が真理を認識すべきであることを暗示します。ですから、わたしたちは真理を学ぶことを決意すべきです—— 2:4 :
1. 大部分の聖徒はおそらく、真理を担う責任があるという深い感覚を持っています。
 2. 召会は、あらゆる信徒を含めて、真理を維持しなければなりません。
 3. 召会の聖徒たちは導く者を尊重する必要がありますが、もし導く者が真理に反することを行なうなら、聖徒たちは真理を維持する責任を担うべきです：
 - a. だれが語っていても、聖徒たちは、語られていることが真理に合っているかどうかを、識別しなければなりません—— I テサロニケ 5:21。
 - b. わたしたちは人を顧みるのではなく、真理を顧み、常に真理を維持する用意があるべきです—— I ヨハネ 1:6。
 4. 召会が強くなるためには、あらゆる兄弟姉妹が真理を学び、真理を経験し、真理を語れることによって、真理を維持しなければなりません—— I テモテ 2:4。
- C. 真理を維持するとは何を意味するのかを理解するために、わたしたちはガラテヤ第2章 11 節から 16 節にあるパウロの模範を見ます：
1. パウロは、ペテロが真理に反して、異邦人と食を共にすることからしりごみしたことを見ました—— 11-13 節。
 2. パウロはペテロを責めました。なぜなら、彼は真理に反することを行なっていたからです。こうして、パウロは真理を維持していました—— 14-16 節。
 3. この状況で、パウロは真理の柱また基礎でした—— 5, 14 節。
- D. 日常の召会生活の中で真理を学び、真理を実行するなら、わたしたちはみな真理を維持することで、いくらかの責任を担うことができるでしょう—— II ヨハネ 4 節：
1. あらゆる真理には二つの面があります。わたしたちは均衡が取られるために、あらゆる真理の両面を保持する必要があります。
 2. わたしたちは常に真理を学び、保護し、維持しなければなりません—— III ヨハネ 3-4, 8 節。